

アル・アクサ洪水第361日目：イランが大規模作戦を実施 | ヤッフアで死者 | ヒズボラがテルアビブを爆撃

The Palestine Chronicle, 2024年10月1日、脇浜義明訳、田中一弘補訳 *脚注は訳注



イランはイスラエルに向けて数百発の弾道ミサイルを発射した。(Photo: video grab)

主要事項

- * イスラエル軍はレバノン地上侵攻を開始したことを発表¹。
- * 昨夜一晩で、イスラエル軍はベイルートを標的に8回攻撃したと言われ、他にも南レバノンの町々に空襲と砲撃を繰り返した。
- * ヒズボラはイスラエル領北部のキブツやモシャブのイスラエル軍拠点や砲兵陣地に砲弾を撃ち込み、直撃させた。
- * 一方、ガザ虐殺と、粘り強いパレスチナ人抵抗も激化している。
- * パレスチナ保健省によれば、昨年10月7日より続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は41,615人、負傷者は96,359人となった。

最新情報

10月2日 09:45am

- * ガザ医療関係筋：明け方からのイスラエルのガザ回廊各地への攻撃で57人のパレスチナ人が死亡した。
- * ヒズボラ：我々はキルヤット・シュモナ南部の敵兵集合体と砲兵陣地をロケット攻撃し、死傷者が出た模様。
- * タスニム通信（イランの半官通信社）：イランは航空機運休を10月3日の午前5時まで延長した。
- * チャンネル12：イランのミサイル攻撃でイスラエル中部の町ホド・ハシャロンで少なくとも100軒の家屋が崩壊した²。
- * イスラエル国内戦線：キルヤット・シュモナや上ガリラヤの町々で警報が鳴り響いた。
- * イスラエル・メディア：レバノン国境近くでヒズボラとの砲撃戦・銃撃戦でイスラエル兵たちが負傷し、今朝ハイファの病院や上ガリラヤのツファット医療センターへ搬送された。

¹ すでに侵攻、ヒズボラの反撃でイスラエル兵8人が死亡。

² イランは、自国内でイスラエルがヒズボラのハニーヤ殺害を殺害したことへの報復として、180発以上のミサイルをイスラエルに撃ち込んだ。米国は、イスラエルが「大規模な報復」を数日以内に行うと言っている。

*イスラエル・ハヨム：今朝から約30発のロケットが北部のメトゥラに向けて発射された。

*イスラエル国内戦線：ガリラヤ西部、上ガリラヤ、北部イスラエルの各地で警戒警報が鳴った。

*イラン（イラン議会の議長）：イスラエルのいかなる攻撃に対してもわが国の次の反撃はもっと大規模となるであろう。

*ロイター通信：デンマーク警察は、コペンハーゲンのイスラエル大使館付近で起きた2回の爆発の犠牲者はなく、現在背景を調査中であると言った。

*ヒズボラ：我々はミスガヴ・アマムとシャトゥラのイスラエル軍をロケット攻撃し、直撃に成功した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はナバティエ市と南レバノンのカフル・キラを攻撃した。

*ヒズボラ：我々はショメラ兵舎のイスラエル軍をロケット攻撃し、直撃した。

*アル・マヤディーン：イスラエル軍はアダーイサで待ち伏せ攻撃を受けて兵士が一人死亡したと発表した。我々の取材では死者の数がもっと多いことを確認した。イスラエル軍は発煙弾を発射して煙幕を貼って、死者と負傷者をヘリコプターで運んだ。レジスタンスはゼロ地点から占領軍に発砲、それが大きな戦闘に発展した。占領軍は今日アル・アダーイサに侵攻しようとして、有刺鉄線地帯に来たときに、待ち伏せ攻撃にあったのだ。

*ヒズボラ：我々の戦士はキルヤット・シュモナ南部の敵兵集団と砲兵陣地をロケット攻撃し、直撃した。

*イスラエル・メディア：上ガリラヤのシャミールで警報が鳴っている。

10月2日 04:00am

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はベイルート南部郊外を二時間の間に9回爆撃した。爆撃した地区はハダス、ルワイス、シュエイファート、ハーレット・ハレイク。

10月2日 3:40am

*アル・マヤディーン：イスラエル軍は相変わらずベイルート南部郊外の各地への攻撃を続けている。ベイルート南部郊外ではシュエイファートとアームルーシアを3回攻撃し、4度目の攻撃はベイルート南部郊外の住宅地区だった。

*パレスチナ・メディア：ガザ市西部で避難民を収容しているアル・アマル孤児院をイスラエル軍が攻撃し、パレスチナ人6人が死亡、多数が負傷した。

*イラン（一般幕僚）：イランのイスラエル攻撃はイランを守るために必要な抑止力を見せた。シオニスト国とそれを支援する国々はこのメッセージが分かったであろう。

*イラン・メディア：イランのミサイルはモサド本部、ネツァリムとナヴァティム空軍基地、レーダー・システム、戦車集合拠点を直撃した。

*イラン・メディア：イラン軍には犯罪的な敵の経済施設を攻撃する能力もあるが、今回は軍事施設だけを攻撃した。

*イラン（イラン軍参謀総長モハンマド・バゲリ少将）：我々は、イスラエルによるイスマール・ハニーヤ氏殺害のあと、米国からガザ停戦させるから報復を自制せよと繰り返し要請され、かなりの時間我慢をしてきたが、イスラエルがさらにサイド・ハッサン・ナスララ氏とわが国のアル・クッズ部隊のレバノン担当官アッバス・ニルフロシャン准将を殺害したので、もう我慢の限界となった。

*イラン（イラン軍司令長官アブドルラヒム・ムサヴィ少将）：イスラエルが悪行を続けるならば、必ず完全破壊するという重要なメッセージを、米国は我々の攻撃から学び取るべきだ。

10月2日 12:00am

*イラン外務省：イスラエルが反撃すればイランはもっと強力な反撃をするであろう。

*スタンダード&プアーズ・レーティング：S&P グローバル・レーティングはイスラエルの長期信用格付けを、安全保障上リスクの増加による悲観的見通しのために、A+からのAへ引き下げた。

*イスラエル軍：軍は、安全保障内閣の閣僚会議の結論により、イスラエル中部で集会などの人の集まりに関する民間防衛軍の指令を緩和すると発表した。

*イスラエル軍：イスラエル軍はベイルート南部郊外のハーレット・ハレイクのビル群の住民に避難立ち退きすることを勧告した。

*イラン外務省：イスラエル政府が今後も攻撃をすると決定しないなら、我々の軍事行動も終わる。

*レバノン保健省：昨日のイスラエルのレバノン攻撃でレバノン人55人が死亡し、156人が負傷した。

10月2日 12:00am

³ ネタニヤフ首相が率いる上級大臣から成るフォーラム。

*アル・マヤディーン：イスラエル軍のヌセイラト難民キャンプ西部の避難民を標的にした攻撃で、子ども1人を含む9人のパレスチナ人が死亡した。

*ヒズボラ：我々は「 Beit・ヒッレール」の砲兵陣地をロケット攻撃した。

*イスラエル・メディア：イランのミサイルでベエルシェバで電力供給網が破損した。

*イラン参謀本部職員：シオニスト国を支援する諸国が軍事介入すれば、我々は彼らの中東に於ける経済拠点と軍事拠点を攻撃するであろう。シオニスト国は我々の報復攻撃に反撃するならば、国の経済と生活の基盤の多くの破壊を覚悟するべきだ。

*カマラ・ハリス米副大統領：私はイスラエルがイランに対して防衛できる力があるように常に配慮するつもりだ。また、わが国の利益擁護のためにイランに対して必要な行動をとることを躊躇しない。イランは中東地域における不安定化勢力である。

*ネタニヤフ：今夜イランは大きな間違いを犯した。そのツケを支払うことになるだろう。

*イスラエル・メディア：テルアビブ事件による死者は7人である⁴。

10月1日 11:30 pm

*イスラエル軍ラジオ放送：テルアビブ事件の実行犯たちはイスラエルへ侵入し、イスラエル兵士をナイフで刺して武器を奪い、その武器で攻撃をした。

*ヒズボラ：イランのミサイル攻撃で、ハツァリーム基地、ネヴァティーム基地、ラモン基地が大きく損傷して使用不能となっている。

*チャンネル12：181発の誘導ミサイルがイランから発射された。

*アル・マヤディーン：ガザ市南部でイスラエル軍の大砲とアパッチ・ヘリコプターによる空爆が続いている。

*アル・マヤディーン：イスラエルの無人機がガザ回廊中部のアル・ブレイジ難民キャンプを銃撃している。

*米国防総省：我々は中東地区の米軍の防衛問題を重視している。

*米国防総省：イランはまだ追加的攻撃を行う能力がある。我々はイランがこれ以上の攻撃に踏み込まないことを望む。

*フーシ派：我々はイエメン軍と武装集団の軍事行動が増加していることを確認する。我々はイエメンがイスラエルのパレスチナとレバノンへの攻撃がなくなるまで支援の戦いを行うことを再確認する。

10月1日 9:40 pm

*イラン最高指導者アリー・ハーメネイー師：レジスタンス軸の攻撃はますます強くなり、腐りかけたシオニスト国の肉体には手痛いものとなるであろう。

*ヒズボラ高官（アル・ジャジーラの取材で）：イランのミサイル攻撃の標的となった基地、とりわけ空軍基地の多くは直撃となった。計画通りミサイルは攻撃対象に到達した。対象となったのはネヴァティーム基地、ハツァリーム基地、テル・ノーフ基地、ネツァリム基地、グリルート基地である。イスラエル軍による迎撃の規模は小さかった。イスラエル兵死傷者はかなり多い模様。

*カッサム旅団報道官アブ・オベイダ：我々は占領されたパレスチナ全土にわたるイランの反撃、中東地域に於ける自分たちの蛮行と人々への野蛮な攻撃が処罰なく通用すると思っている犯罪的占領者に強い打撃を与えたイランの反撃を心から祝福する。これは戦いの歴史の中で素晴らしい日である。アラブ民族のレジスタンスの火がパレスチナの空に燃え上がり、テルアビブはイエメン、レバノン、パレスチナ、そしてイランの戦士たちの攻撃にさらされている。これはアラブ民族の自由を愛するすべての人々にパレスチナ解放に立ち上がれという呼びかけである。

*イランの大統領：イランのイスラエル攻撃はわが国の利益と国民を守るために行った。我々は戦争を望んでいないが、わが国に対する脅威には毅然と対処することを、ネタニヤフは肝に銘じて忘れてはいけない。

*ブリンケン米務長官：イスラエルは米国の援助で効果的にイランの攻撃を妨げた。

*ジェイク・サリバン米国家安全保障担当補佐官：イランのイスラエル攻撃は大きな結果をもたらすであろう。我々はイランの攻撃を撃墜するためにイスラエルと綿密に協力し合った。次にどうするかはイスラエルと協議して決める。

⁴ 10月1日夜、二人のパレスチナ人が西岸地区のヘブロンからイスラエルに侵入し、イスラエル兵から武器を奪って、車で乱射、7人を殺し、16人を負傷させた事件。カッサム旅団がやったと声明を出した。

*イラン革命防衛隊：我々のミサイルはイスラエルの3軍事基地を標的にした。我々は超音速ミサイル「ファタハ」⁵を初めて使った。

*イエディオト・アハロト（イスラエル軍の言葉として）：今晚我々の中東地域の各地を爆撃するだろう。

10月1日 9:40 pm

*イラン革命防衛隊：我々はテルアビブ付近の3軍事基地を標的にした。

*ハマス：ヤッファ・オペレーション（テルアビブ事件）はイスラエルの絶滅戦争への当然な反応である。

*イラン革命防衛隊：我々は我々が約束したことを果たした。これは第一波にすぎない。敵は反撃するという誤りに踏み切った場合はもっと強くてもっと破壊的な攻撃をするであろう。

*カン：イラン攻撃の後いかなる決定がされようと、それは劇的なものとなり、中東地域戦争の勃発に繋がるであろう。

*ハマス：イランの反撃は敵シオニストとその政府に対し、彼らに対する抑止力があり、国家テロをやめろという、強力なメッセージである。

*チャンネル13：レバノンへの地上侵攻拡大の準備として、上ガリラヤの町アヴィヴィーム、ツフォン、マルキーヤを軍用地帯に変えた。

10月1日 9:00 pm

*ベニー・ガンツ：イランはまたもやレッドラインを超えた。我々は報復でイランを攻撃することを支持する。イランが勝つかイスラエルが勝つかだ。

*チャンネル13：ネタニヤフは、何人かの閣僚といっしょに、エルサレムの要塞地下室に数時間に身を潜めていた。ガラント国防相はテルアビブの国防省の地下室に身を潜めた。

*イラクのイスラム・レジスタンス：もし米国が介入してイランを攻めたり、シオニストがイラク領空を使えば、我々は米国基地を攻撃する。

*アル・ジャジーラ：イラン当局はテヘランのホメイニ国際空港発着の航空便運航を迫って通知するまで一時的停止する決定をした。

*米国防総省：米軍はイランから飛来するミサイル撃墜に積極的に防衛している。

*イスラエル軍報道官：ヘルジ・ハレヴィ攻防軍参謀総長が現在幕僚参謀本部の状況を確認している。

*イランのファルス通信社：ミサイル群が占領地パレスチナ（イスラエル）へ向かって飛んでいる。

*イスラエル軍報道官ダニエル・ハガリ少将：今度はイランへの反撃は今までとは異なるだろう、

*イスラエル・ハヨム：ベン・グヴィル国家安全保障大臣は救急処置要員として13000人のボランティアの緊急配備を命令した。

*ホワイトハウス：バイデンとハリスはホワイトハウス地下の危機管理室からイランのイスラエル攻撃を映像で見ている。

*イランTV：イスラエルの誘導ミサイル攻撃は第一波で、さらに続くであろう。

*イランの国連大使：イスラエルが反撃するならば、我々はもっと強い攻撃で応じるであろう。

10月1日 8:35 pm

*アル・マヤデーーン：イランの攻撃で非常事態になっている状況を利用して、数百のパレスチナ人家族がガザ北部の自宅へ戻ろうとしている。ネツァリム地区のイスラエル軍は自宅へ戻ろうとしている避難民を銃撃した。このために、現在分かっている被害状況は、3人が死亡、8人が負傷である。

10月1日 8:15 pm

*アクシオス：イスラエルの安全保障内閣はエルサレムの政府建物の地下で閣僚会議を開いている。

*イスラエル警察：ヘルツリヤのホテルの一室に拳銃を持った男たちがいるという噂があり、我々は付近の捜索を行っている。

10月1日 8:00 pm

*イスラエル・メディア：これまでほぼ200発のイランのミサイルがイスラエルに飛んできた。

*イラン革命防衛隊：我々の攻撃に対しシオニスト国家が反撃すれば、もっとひどい攻撃をするであろう。イスラエルがイスマール・ハニーヤ、サイド・ハッサン・ナスララ、ニルフロシャンを殺害したことへの報復として、我々は占領地パレスチナの心臓部を攻撃したのだ。

⁵ 現在の防空システムでは迎撃不可能とされる。

*イスラエル軍報道官：ロケット弾発射が続いている。住民は追って通知があるまで安全な保護地にとどまるように。

*ニューヨークタイムズ：イラン・ミサイルの第一波がイスラエルへ届くまでの時間は15分以下であった。誘導ミサイルのようである。

*チャンネル14：現在イスラエル人全部が要塞地区に退避している。

*イスラエル軍ラジオ放送：イラン・ミサイルの第二波がイスラエルへ飛んできた。

*イスラエル・メディア：南部にロケット2発が着弾した。

*イランTV：イランからのミサイルがイスラエル国内部の標的に当たった。

*イスラエル・メディア：多数のロケット弾がテルアビブ北部などに着弾した。

10月1日 7:30 pm

*イスラエル軍：イランからロケットがイスラエル領へ向けて発射された。

10月1日 7:30 pm

*イェディオト・アハロノト：イランは100発以上のミサイルをイスラエルへ向けて発射している。

10月1日 7:30 pm

*イスラエル・メディア：エルサレムを含めて、イスラエル中部、南部、西部に非常警報。

*イスラエル救急隊：ヤッファの銃撃はまだ続いている。

*イスラエル・メディア：ヤッファの銃撃事件の犠牲者は5人となった。

10月1日 7:00 pm

*アル・アラビー（カタールTV）とハアレツ：ヤッファ銃撃で死傷者が出ている一速報。

10月1日 6:50 pm

*イスラエル・メディア：イランのイスラエルの安全保障施設を狙った「大規模」攻撃の準備が進行中。

*MSNBC（米国向けのニュース専門放送局）：イスラエル軍報道官はヒズボラがどうなったか、その指導者の殺害を報道するMSNBCを通じて、教訓を学ぶべきだと、イランに呼びかけた。

*イスラエル・メディア：テルアビブ大都市圏と西岸地区の入植地に警報がなった。

*イスラエル軍ラジオ放送：テルアビブ大都市圏で爆発音が聞こえた。テルアビブ南部のバト・ヤム近くの空地にロケット弾が着弾した。

*パレスチナ・メディア：西岸地区ナブルスのバラータ難民キャンプをイスラエル占領軍が銃撃し、パレスチナ人の子どもが負傷した。

*フーシ派：フーシ派軍事報道官ヤヒヤ・サーリーは、フーシ派が紅海を航行する3隻の船に対し軍事行動を行ったと発表した。

*イスラエル・メディア：少し前のイスラエル中部の爆発はレバノンからの攻撃であった。

*イスラエル民間防衛隊：民間防衛隊はテルアビブ近くのグッシュ・ダン地区の入植者にシェルター近くにいるように指示した。

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊中部のある・ブレイジ難民キャンプ入口に集まっていた住民への爆撃で死傷者が出た。

10月1日 6:00 pm

*アル・マヤディーン：米国大使館はイスラエル内の職員と米国人に追って通知があるまでシェルターにいるようにと呼びかけた。

*レバノン・メディア：9月29日にイスラエル占領軍によるシドンのアイーン・アル・デルブ虐殺跡の瓦礫除去作業が終わった。最終的犠牲者は71人の死亡と58人の負傷である。

*イスラエル・メディア：下ガリラヤのゴラン・ジャンクションで激しい爆発があった。

*アル・マヤディーン：イスラエル軍はナバティエ市郊外を爆撃した。

*イスラエル・メディア：レバノンから誘導ミサイル4発が発射され、テルアビブ北部のネタニヤ市の沿岸沖に落ちた。

*レバノン・メディア：イスラエルの二度にわたるベイルート南部郊外への攻撃でかなり甚大な物理的破壊が発生した。

*ヒズボラ：我々はテルアビブ郊外のスデ・ドヴ空軍基地へファージ4ロケットを一斉に撃ち込んだ。

*アクシオス（イスラエル高官の言葉として）：イスラエルはイランのイスラエル攻撃は数時間後に起きると思っている。

* ネタニヤフ首相：我々はイラン軸との対決の頂点にいるが、我々は団結している。

10月1日 5:00 pm

* イスラエル軍報道官：米国から近くイランからの空爆があるという情報を得た。我々はイランからの空襲に対して十分に備えている。前にも撃墜したように、備えは十分である。

* ブリンケン米国務長官：わが国は入念に中東地域の事態の展開を追っており、イスラエル防衛の方針には変わらない。

* ホワイトハウス：我々はイランがやがてイスラエルに向けて誘導ミサイルを発射する動きをつかんでいる。

* チャンネル13：イランからのミサイル攻撃を予測してイスラエルは警戒態勢に入っている。

10月1日 3:30 pm

* ロシア外務省：ロシア外務省はイスラエルのレバノン攻撃を強く非難し、すぐに攻撃をやめるようにイスラエルに要求した。

* イスラエル民間防衛隊：空地や建物内での集会を禁止する。

* レバノン・メディア：イスラエル軍はバアラベク市南東部のアル・ワド地区を攻撃した。

* イスラエル・メディア：北部で警報が鳴り響いた。

* ヒズボラ：我々はクファル・ギラディ・キブツに集結している敵兵をカチューシャ・ロケットで攻撃した。

10月1日 3:00 pm

* パレスチナ・メディア：ハーン・ユニス西部のオーストリアンタワーズの裏の民間人車両をイスラエル軍が攻撃し、6人のパレスチナ人が死亡した。

* イスラエル・メディア：ベン・グリオン空港を閉鎖するかもしれない、それに関する協議が数時間後に開かれる。

* イスラエル民間防衛隊：中部とエルサレムの住民に保護地区から離れるなどという指示を強めた。

10月1日 2:00 pm

* ヒズボラの広報窓口：我々は、商業メディア、共同組合メディア、法的グループ・メディア、国際メディア、アラブのメディア等々、すべてのメディアに、このシオニストの野蛮な攻撃を非難し、シオニストがメディアと記者に対して行っている犯罪行為を暴露することを呼びかける。

* レバノン・メディア：イスラエル軍は南レバノンの町コウカバの郊外を攻撃した。

* ワシントンポスト（イスラエル高官の言葉として）：より大規模なレバノンへの地上侵攻は予定されていない。レバノンへ侵攻した我が軍とヒズボラ民兵との戦闘の報告はない。

* CNN(イスラエル高官の言葉として)：これまでのところレバノンへ侵攻したイスラエル軍とヒズボラとの戦闘は起きていない。

* チャンネル12：レバノンから15発の砲弾が上ガリラヤのメトゥラに向けて発射された。

* パレスチナ・メディア：イスラエル軍のハーン・ユニス西部の避難民のテント村への攻撃で、子ども一人と女性一人を含む7人のパレスチナ人が死亡した。

* アル・マヤディーン：イスラエル軍のハーン・ユニス市西部の避難民テント村への無人機爆撃で、6人のパレスチナ人が死亡し、何人かが負傷した。

* ヒズボラ：我らの戦士が、占領されているレバノン領クファル・シュバ丘陵のアル・ラムサとアッサマカの間にいる敵兵集団にカチューシャ・ロケット32発を浴びせた。

* イスラエル・メディア：ガリラヤ・フィンガーのクファル・ギラディとミスガヴ・アムで警報が鳴った。

* エジプト下院議長：今レバノンで起きていることはあからさまな主権侵害だ。それは全面的な地域戦争勃発の前兆になるかもしれない。

* パレスチナ・メディア：アル・ヌセイラト難民キャンプ西部でイスラエル占領軍の発砲で3人のパレスチナ人が負傷した。

* ヒズボラ：シオニストは昨日攻撃されたアル・シララ TV 局など民間建物の中に武器を隠していると言っているが、全くのウソである。

10月1日 1:15 pm

* ヒズボラ広報窓口：今のところレジスタンス戦士と占領軍の間の直接的戦闘はない。占領軍がレバノンへ入ったというシオニストの主張は嘘である。イスラエル情報部隊ユニット8200とモサド本部への我々の攻撃はまだ序の口である。我々はレバノンへ侵攻しようとするシオニスト軍に大きな損傷を与えるであろう。我らの戦士はレバノンへ侵攻しようとする敵兵と戦う準備は十分にある。

*アル・マナール特派員⁶：昨日からイスラエル軍は国境近くの町や村を砲撃しリン酸爆弾で攻撃したりしている。彼らの無人機や戦闘機がその攻撃を側面援助する形でレバノン国境付近を飛び回って爆撃している。昨日以来、レジスタンスはパレスチナ占領軍（イスラエル軍）がレバノン領に侵入するのを防ぐ戦いを行っている。彼らがまだ占領地内（イスラエル内）にいるうちに、基地や拠点を攻撃して地上侵攻の動きを封じようとしている。

10月1日 12:50 pm

*イスラエル・メディア：国境近くのマトゥラーではひっきりなしに警報が鳴っている。

*ガザ市民防衛隊：防衛隊員はイスラエル軍のザイトゥーン地区爆撃跡の瓦礫の中から遺体を一体回収したが、女性がまだ瓦礫の中に埋まり、見つかっていない。

*パレスチナ・メディア：ラファ市北部のムスバーフ地区の住民グループを狙ったイスラエル軍のドローン攻撃で負傷者がかなり出た。

*イスラエル・メディア：西岸地区ナブルスの戦闘で負傷した4人のイスラエル兵は精鋭のドゥブデバン部隊⁷の兵士で、一人は重体。

*イラン国家安全保障最高評議会書記：イランのヒズボラ支援は継続し、ヒズボラ指導者が殉死してもヒズボラの力は衰えない。

*イスラエル軍：イスラエル軍は南レバノンのいくつかの村の住民に「自宅から立ち退き、早急に村から離れよ」と勧告した。

*国連レバノン暫定駐留軍：昨日イスラエルは国連レバノン暫定駐留軍に限定的レバノンへの地上侵攻を行う意図を連絡してきた。どんな形にせよ軍隊をレバノンへ侵攻させるのはレバノン主権の侵害であり、国連安保理決議1701違反である。

10月1日 12:00 pm

*イスラエル・メディア：レバノンから10発の誘導ミサイルがテルアビブとイスラエル北部に向けて発射された。

*チャンネル12：ロケット着弾のためにテルアビブの北の国道6号線が閉鎖された。

*イスラエル消防庁：ロケットがテルアビブ北部のクファル・サバに着弾して火災となった。

*ロイター通信（イスラエル高官の言葉として）：レバノンへの地上侵攻は限定的である。レバノン政府に対する大規模軍事行動は予定していない。

*ヒズボラ：我々は入植地ロシュ・ピナ付近に集合している敵兵を攻撃した。

*イスラエル・メディア：テルアビブ警察は住民にシェルターを離れるなど言った。

*ヒズボラ：故ナスララ書記長への追悼の念を込めて、我々はイスラエル情報部隊ユニット8200のグリロト基地とモサド本部をファージ4ミサイルで攻撃した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍のヘリコプター群がハーン・ユニス南西部アル・ファッハリー地区を銃撃している。

10月1日 11:00 am

*チャンネル12：レバノンからイスラエル中部へのロケットで負傷した人の数は3人に増えた。

*イスラエル・メディア：レバノンからイスラエル中部に向けて発射されたロケット弾はこの戦争が始まって以来最大の規模である。

*アル・マヤディーーン：イスラエル軍の車両からヌセイラト難民キャンプ西部を銃撃があった。

*シリア・メディア：イスラエルの攻撃で3人の民間人が死亡、9人が負傷、私的財産が大きく損傷した。

*ヒズボラ：我々はドヴィーフ兵舎の敵兵をファラク2ミサイルで攻撃した。

*イスラエル・メディア：テルアビブ北部と北東部で爆発音がした。

*アル・マヤディーーン：占領地パレスチナ（イスラエル）北部へロケット弾が一斉発射された。

*アンブリー社（海事リスク管理会社）：イエメンのフダイダ沖97海里で事件に巻き込まれた船舶は無人ボートで攻撃された。

*フーシ派：我々はヤッフアとエイラートをドローンで軍事攻撃し、直撃した。エイラートの軍事基地をサマド4ドローン4基で攻撃し、テルアビブの港町ヤッフアのイスラエル兵をドローン攻撃した。

⁶ アル・マナールはヒズボラの衛星テレビ局。

⁷ パレスチナ・アラブ人の衣装で偽装して活動する特殊部隊。

*イスラエル・メディア：上ガリラヤのメトゥラ、サフェド、ロシュ・ピナ、いくつかのキブツで警報が鳴った。

10月1日 10:00am

*レバノン市民防衛隊：イスラエル軍のダウディアの町への攻撃で9人が死亡、3人が負傷した。

*イスラエル軍：レバノン軍は南部国境検問所から数キロメートル撤退したことを否定した。レバノン軍は南部に展開している部隊の配置換えだと説明した。

*イスラエル軍：我々は、南レバノンで激しい戦闘が起きるので、住民にリタニ川の北から南へ自動車を走らせないようにと呼びかけた。

*パレスチナ・メディア：バラータ難民キャンプで若者がイスラエル軍によって撃たれた。バラータ難民キャンプへはイスラエル軍増援部隊が侵攻している。

*UKMTO (英国海運貿易オペレーション)：イエメンのフダイダ沖北西64海里で船舶が無人ボートに襲われたという報告がある。

*ベン・グヴィル：南レバノンではイスラエル軍は現在困難な状況で戦っている。しかし、今こそヒズボラを壊滅させ、北部の住民が自宅へ戻れる正念場だ。

*イスラエル駐米大使：米政府は我々のレバノン作戦の性格を理解しており、我々を制約しなかった。

10月1日 9:00am

*ヒズボラ：我々はメトゥラ拠点のイスラエル兵を砲撃し、直撃した。

*イスラエル・メディア：メトゥラで警報が鳴っている。

*イエメン武装勢力：サヌア（イエメンの首都）時間で午前10時に重要な声明を出す。

*アル・マヤデーーン：イスラエル軍の救急センターへの夜通しの攻撃の結果マシャハラで8人が死亡した。ベイルート南部郊外の団地へ一晩で8回もイスラエル軍の攻撃があった朝、ベイルートはピリピリ警戒した静けさである。

*イスラエル・メディア：国境付近のアヴィヴィームで警報が鳴っている。